

7 2. ^{さつま}薩摩・^{ひごかいどう}肥後街道

選定箇所：小津奈木～古城陣の坂～公德碑～袋～県境（熊本県水俣市）＊1、
境橋～野間の関跡（鹿児島県出水市）＊2

概要：薩摩街道は、熊本城下の札の辻と薩摩藩鶴丸城下の西田橋を結ぶ、南九州の陸上交通の大動脈として整備された街道である。島津氏が参勤交代時に利用した道であり、篤姫が将軍家へ輿入れする時もこの道を通っている。

熊本県域で歴史の道百選に選定されているのは、水俣市の小津奈木－古城陣の坂－公德碑－袋－県境で、旧道の面影を残す陣の坂、幕末の尊皇思想家である高山彦九郎ゆかりの故事を徳富蘇峰の筆で記念碑とした公德碑の他、各地で眼鏡橋が良好な状態で残されている。

鹿児島県域で歴史の道百選に選定されているのは、県境にある境橋－野間の関跡であり、特に幕末の尊皇思想家である高山彦九郎や漢学者頼山陽の記録等によりその厳しさが知られている野間の関跡は、その跡地とともに井戸が残されている。

- * 1 基本は通行可であるが、樹木等の繁茂などにより通行が難しい箇所がある。
- * 2 所々に現在道として使われていない箇所がある。



野間の関跡（写真提供：出水市）